

要 望 書

～平成 24 年度国立大学法人運営費交付金予算の確保について～

平成 23 年 12 月 14 日

国立大学医学部長会議

平成 24 年度国立大学法人運営費交付金予算の確保について (要望)

文部科学大臣 中川 正春 殿

国立大学医学部長会議
常置委員会委員長 森



平成 18 年度より実施された運営費交付金の対前年度比 1%削減や総人件費改革（毎年 1%削減）により人件費の抑制が増大しています。このため国立大学では新規採用の抑制を余儀なくされ、国立大学医学部においては既に教育・研究・診療の各業務に多大な支障を来しています。

現在、国家公務員の給与を平均 0.23%引き下げとする人事院勧告がある一方、平均 7.8%もの国家公務員の給与削減法案が国会で審議されています。もしこの法案が可決成立され、国立大学運営費交付金予算が同様に取扱われますと、現在雇用されている教職員の給与が減額され、その結果、教職員が他の給料の高い職場に移る可能性が出てまいります。殊に医学部では、医師、看護師その他のコ・メディカルが給料の高い他の医療機関に移ることが現実になっており、今後ますます多くなることが危惧されます。

東日本大震災以降、国立大学では医学部や附属病院を中心として、被災地への医療支援、被災した学生や研究者の受け入れなどを全国的に展開してまいりました。医師不足対策としての学生定員増による教職員への負担が増大する中、医療スタッフを含む教職員が減少致しますと、このような支援も不可能となるばかりか、医療の崩壊がさらに加速されることとなります。

国の基盤となる教育・研究をさらに強化し、地域医療の最後の砦として国民の健康を守ることが、国立大学医学部に課せられている最重要課題と考えられますが、減給やそれに伴う教職員減少による負担増は大学、殊に医学部の疲弊を加速させ、被災地支援にも悪影響をおよぼすこととなると考えられます。このようなことから、平成 24 年度の予算編成に向けて、国立大学法人運営費交付金予算の確保・充実について、ご理解を頂き、格段のご尽力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国立大学医学部長会議 全42大学

【常置委員会】

委員長	森	望	(香川大学)
副委員長	大谷	浩	(島根大学)
顧問	中村	達	(浜松医科大学)
相談役	嘉山	孝正	(国立がん研究センター)
常任幹事	宮園	浩平	(東京大学)
常任幹事	湯浅	保仁	(東京医科歯科大学)
常任幹事	中谷	晴昭	(千葉大学)
委員	山本	雅之	(東北大学)
委員	犬塚	貴	(岐阜大学)
委員	米田	悦啓	(大阪大学)
委員	佐々木	功典	(山口大学)
委員	野口	隆之	(大分大学)
委員	山下	英俊	(山形大学)
委員	本橋	豊	(秋田大学)
委員	有田	順	(山梨大学)
委員	玉置	俊晃	(徳島大学)
委員	祖父江	元	(名古屋大学)

【会 員】

玉木	長良	(北海道大学)	吉田	晃敏	(旭川医科大学)
佐藤	敬	(弘前大学)	大塚	藤男	(筑波大学)
和泉	孝志	(群馬大学)	高橋	姿	(新潟大学)
福嶋	義光	(信州大学)	村口	篤	(富山大学)
松井	修	(金沢大学)	上田	孝典	(福井大学)
登	勉	(三重大学)	馬場	忠雄	(滋賀医科大学)
湊	長博	(京都大学)	根木	昭	(神戸大学)
豊島	良太	(鳥取大学)	吉野	正	(岡山大学)
吉栖	正生	(広島大学)	安川	正貴	(愛媛大学)
脇口	宏	(高知大学)	片野	光男	(九州大学)
濱崎	雄平	(佐賀大学)	松山	俊文	(長崎大学)
竹屋	元裕	(熊本大学)	迫田	隅男	(宮崎大学)
榮鶴	義人	(鹿児島大学)	須加原	一博	(琉球大学)